

みんなの議会

令和8年9月定例会

長与町
議会だより
No.199

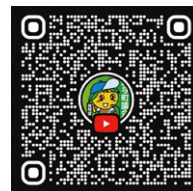


住民と共に熱い議論を展開！ P2

決算から見る長与町の1年..... P4

議員定数削減が決定..... P8

9人の議員が町政を問う..... P11



動画配信中

住民と共に熱い議論を展開！

全体会での様子！住民も真剣です。



長与の明るい未来を語る

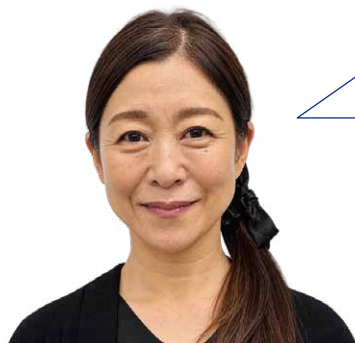


報告書はこちら

令和8年度議会報告会を7月26日に開催しました。日曜日のお昼にも関わらず、例年より多い20人の住民に参加していただきました。その中には、小学生も母親と共に参加し、自らの意見や思いを発言してくれました。

全体会では、はじめに総務厚生常任委員会・産業文教常任委員会・議会運営委員会・議会広報広聴常任委員会からの活動報告を行いました。その後、質疑応答で参加者からの質問や意見が出されました。

参加した住民に感想を聞いてみた！



荒木美昌さん（嬉里郷）

初めて参加して、議員との意見交換会は、とても良かったです。



阿部ひとみさん（嬉里郷）

各委員会の報告を聞くことができてとても良かったです。意見交換会の場合は、大事だと思っています。今後も関心を持って参加しようと思いました。



浦田比路子さん（吉無田郷）

初めての参加でしたが、町議会議員と、直接対話する良い機会でした。

全体会での主な質疑

Q 来年選挙があるのに、議会だよりには議員の紹介を載せるのはいかがなものか。

A 住民から「議員の人の柄や思いなどを聞く機会がない」との意見を踏まえ掲載した。

Q 視察の報告はしているのか。

A 議会だよりには毎回掲載し、ホームページにも掲載している。

Q 高田学園に議員は視察に行ったのか、感想を聞きたい。

A 議員としては行っていない。

令和8年度 議会報告会

二つの各委員会に分かれて 意見交換会

2部では、各常任委員会に分かれテーマごとに意見交換会を行いました。

テーマは、総務厚生常任委員会が、「福祉のまちづくり」について、産業文教常任委員会が、「教育の町長与」に思うことについて参加者から熱い議論や意見が交わされました。

報告会アンケート集計結果 【意見や感想】

- 初参加です。色々な意見交換ができる場で、議員さんに丁寧に説明してもらった。
- 長与町はまだ、改善すべきところがたくさん。議員さんが意見を聞いてくれてありがたい。
- 意見交換会の時間が大変少なく残念だ。
- 質疑応答の時、町民の中で攻撃的な人がいた。質問を1人1回までとしたらどうか。
- 今回も活発な意見があり、年間通して何回もやってほしい。
- みんなの議会198号がとても分かりやすかった。次も分かりやすくしてほしい。

テーマ 「教育の町長与」に思うこと



産業文教常任委員会と住民との意見交換

- Q** 道路のバリアフリー化が進んでいないのではないかな。
- A** 徐々に修繕されているが、まだまだ不十分だ。今後も進展していくよう注視したい。また、長与町公式LINEに登録すると、道路の陥没や街灯の不具合を通報できるので、利用してはどうか。
- Q** 長与中の老朽化がひどく雨漏りしている。学校の修繕は早急にやるべきではないか。
- A** 公共施設管理計画がある。教育施設を優先してほしいとの要望として受け止めたい。

テーマ 福祉のまちづくり



総務厚生常任委員会と住民との意見交換

- Q** 本町は、高齢者交通費・健康づくり助成事業として2500円分補助しているが、時津町は、9000円である。その差は何か。
- A** アンケートの中でも本助成についての声が多かったので、委員会として調査を行っていききたい。
- Q** 障がいのある子どもや大人が安心して過ごせる居場所や受け皿を充実できないか。
- A** 障がい福祉は、重要な調査テーマだ。利用者や家族の意見を踏まえ調査・研究を進める。

決算から見る長与町の1年

認定
賛成11:反対1

令和7年度一般会計歳入歳出決算

スポーツ施設スマートロック推進事業

879万円

(イラストは生成 AI により作成)

スポーツ施設の利便性向上のため、スマートロックの導入

南小学校体育館改修工事

1億5457万円

老朽化した南小学校体育館の屋根、外壁、内部床などの改修工事

複合施設整備事業

7億5393万円

9年4月開館 ホンテラッセ長与の建設工事および周知啓発活動

し尿収集運搬処理業務

5672万円

一般家庭などに設置されるくみ取り式仮設トイレのし尿収集運搬処理業務

有害鳥獣被害防止対策事業

440万円

	令和7年	令和6年
決 算 額	440万円	381万円
ワイヤーメッシュ柵	5,386m	4,591m
電 気 柵	2,980m	1,024m

有害鳥獣対策として、ワイヤーメッシュ柵・電気柵の設置などに対する補助（補助率 1/2 以内）

私立保育園等運営費補助金

17億248万円

町内の子どもが通園する私立保育園等の円滑な運営を支援するための補助金（うち約13億4869万円は国費）

令和8年第3回定例会を9月1日から17日までの17日間の会期で開き、7年度の一般会計決算・特別会計決算、8年度一般会計補正予算・議員定数条例の改正など27の議案を慎重に審査し、いずれも可決（認定・同意・適任）しました。

注目事業を
ピックアップ！



町のお金、どう使われた？

主な質疑

ふるさと納税減額

Q ふるさと納税寄付額が6年度より約5千万円減っている。今後の取り組みはどうか。

A 全国的に返礼品が生活必需品と高級品に二極化していることが要因と考える。ポータルサイトを見直し、新たな返礼品の開拓を進めている。

歳出 167 億 4184 万円

地域公共交通計画は

Q 国が策定を義務付けている地域公共交通計画について、県内ほとんどの自治体が策定を済ませている中、本町はいつ頃から取り掛かるのか。

A 県内で策定していないのは、本町と時津町の2町であるが、9年度から計画策定の前段となる調査・分析などに取り組みたいと考えている。

歳入 178 億 3092 万円

安定した給食調理を

Q 給食調理委託料が約1500万円減額となっているが理由は何か。

A 退職者がいて、調理員が少ない期間があった。8年度は調理員の応募があり安定している。

皿山窯跡の今後

Q 色絵窯と思われる窯跡周辺の用地を800万円で購入しているが、今後の取り組みはどうか。

A 8年度に考古学専門の学芸員を採用し、9年度からの周辺の発掘のための準備をしている。



色絵窯と思われる窯跡（嬉里郷）

処理費に対する収入増額を

Q し尿処理は454件約5500万円の支出に対して手数料収入は550万円にとどまっている。手数料を上げる考えはないか。

A 下水道への切り替えが困難な人、低所得の人もあるため現時点では増額を検討していないが、今後は現状を分析し、手数料改定の必要性を研究する。

寄付金の充当先は

Q ふるさと長与応援寄付金の内「ぬくもりのある福祉の地域づくり」への寄付はどのような事業に充当したのか。

A 寄付額は2542万6千円である。地域福祉ボランティア基金助成金、福祉団体育成補助金、高齢者交通費・健康づくり助成金、緊急通報システム業務委託料の一部に充当し、地域福祉ボランティア基金への積み立てを行った。

反対討論

公共施設の縮減を危惧する

公共施設の縮減を主な目的とした立地適正化計画の策定を危惧する。本町が今後も選ばれ続ける町であるため、7年度中に隣町との格差を縮め、肩を並べるための取り組みを進めるべきであった。住民全体の幸福度を底上げする政策の展開を求め、反対する。（堤議員）

賛成討論

適切な予算執行と認める

物価高騰対策と地域経済の活性化が求められる中、限られた財源を効率よく配分し、適切な予算執行に努めたと評価する。高齢化に伴う社会保障費の増加や公共施設の老朽化対策などをしっかりと検証することを申し添えて賛成する。（岡田議員）
立地適正化計画の策定に着手したことを評価する。窓口へのキャッシュレス決済の導入や複合施設の周知活動、中尾城公園の遊具更新等手段も、住民の生活上の利便性や安全性を高める取り組みだと認める。今後も無駄のない予算執行を期待して賛成する。（八木議員）

基金の活用により急激な負担増の緩和

全会一致
認定

歳入 38 億
7523 万円

県支出金 27 億 3353 万円 70.5%

繰入金 3 億 5892 万円 9.3%

保険税 7 億 2049 万円
18.6%

その他 6229 万円 1.6%

歳出 38 億
2789 万円

保険給付費 26 億 6701 万円 69.7%

国民健康保険事業費納付金
10 億 6572 万円
27.9%

その他 9516 万円 2.4%

※数字は端数を処理しています。

令和7年度国民健康保険特別会計決算
国保世帯数 4315世帯（前年度4483世帯）
被保険者数 6530人（前年度6889人）

主な質疑

Q 令和6年度と比べて、7年度は会計年度任用職員の期末・勤勉手当が計上されていない。これはどのような理由か。

A 雇用していた人の勤務日数が減ったため、期末手当等がなくなっている。

Q 国保税の督促が2100件余りある。納期限までに支払えないという実情があると思うが、要因は何か。

A 経済的にすぐに支払うことが難しい人がある一方、納付を忘れている人もいる。口座振替キャンペーンにより、督促の発生防止に努めている。

7年度も被保険者増

認定
賛成11:反対1

令和7年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入 7 億9431万円
歳出 7 億9239万円

介護予防など 地域支援事業の実施

認定
賛成11:反対1

令和7年度介護保険特別会計決算

歳入 34億3833万円
歳出 31億8655万円

反対討論

第9期介護保険事業計画に基づく執行だが、財政抑制策により、必要な人が施設に入所することが難しい計画となっている。

（堤議員）

賛成討論

法令順守のもと、適切な予算執行が確認できた。

（浦川議員）

介護サービスの提供に加え、介護予防や認知症対策、医療・介護の連携など幅広い取り組みが実施されていることを確認した。

（堀議員）

反対討論

高齢者が増えるほど、医療にかかるほど保険料の引き上げが必至である。

（堤議員）

賛成討論

後期高齢者の医療を安定的に支えていくために必要なものと判断した。（下町議員）
法令順守のもと、適切な予算執行が確認できた。（浦川議員）

町民に安全・安心の上下水道運営のために

全会一致
認定

令和7年度 水道事業会計決算

収益的収入	8億	67万円
収益的支出	7億2284万円	
資本的収入	1億1029万円	
資本的支出	3億8815万円	

主な質疑

Q 水道管の耐震化率はどうなっているか。

A 7年度末で54・7%で全国平均より10%程度高い数値だ。

Q 検針員が必要ないスマートメーターの導入は検討しているのか。

A 設置コストが膨大で現状では交換するメリットはないと考えている。

令和7年度 下水道事業会計決算

収益的収入	9億5222万円
収益的支出	8億8095万円
資本的収入	4億784万円
資本的支出	5億9965万円

主な質疑

Q 下水道管の耐震化率はどうなっているか。

A 本管の管路延長191kmのうち約17%の33kmが耐震適合と考えられる。

●用語解説

収益的収支…主に維持管理関係

(収益的収入…使用料、負担金等
収益的支出…維持管理費、人件費)

資本的収支…主に設備投資関係

(資本的収入…補助金、借入金
資本的支出…事業費、償還金)

長与町駐車を機械化& 24時間化

全会一致
可決

長与町駐車場条例の一部を改正する条例

持続可能な運営と住民サービスの向上のため、老人福祉センター地下の町営駐車場に無人精算機を導入するものです。これに伴い営業時間が現在の8〜22時から24時間営業に、料金が30分50円から1時間100円に変更されます。令和9年1月4日からの予定です。

主な質疑

Q 改定する時間駐車料金や月極料金による収入はどれくらいか。

A 年間約810万円、月額約6万8千円の収入を見込んでいます。

Q クレジットカード、電子マネー等が使えるが、現金も使えるのか。

A 現金決済に対応した釣銭付きの精算機を導入する。



自動精算機が導入される長与町駐車場

16人から14人へ 議員定数削減が決定

可決
賛成6:反対6
議長裁決

発議第1号 長与町議会議員定数条例の一部を改正する条例

発議者 竹中 悟 議員

住民委員の意見は現状の定数16人の維持が大多数

●議会改革プロジェクト委員会（2回）の経緯と結論

議会運営委員会は、議員の定数・報酬を検討するため、議会改革の専門家である神吉信之氏を講師に迎え、自治会長会や消防団、PTA連合会、商工会など町内の各種団体の代表者や公募の方など17人の議会改革プロジェクト委員による協議を令和8年3月と4月に実施しました。

議会の仕事や役割についての講義とワークショップを経て、最終的に現行の16人が適正との意見が参加者の大多数で、18人や14人との声も少数ありました。その後、議員へ意見聴取を行い議会運営委員会で協議を行いましたが、結論の一本化には至らず、8月25日に「委員会として一方の結論を出すことは困難」と議長へ最終答申を行いました。

●長与町議会の議員定数の変遷（表記は条例が改正された年）

昭和49年：18→24 平成18年：24→20 平成24年：20→16

人口減少に伴う財政規模縮小が推定され、今後、町に組織改革・効率化が求められる中、議会だけが現状を維持することはできないとして、議員定数を削減する議案が議員発議として提案されました。

令和7年12月の1人辞職・1人逝去以降、2人欠けた14人で議会運営を行っている実績や今後の人口推計、町民の代表として果たすべき役割などを勘案して現行の16人から14人が適正とするもので、採決の結果は可否同数となり、地方自治法に基づき議長裁決となり、可決されました。

今回の一般選挙から適用されます。

主な質疑

Q 議会改革プロジェクトとして専門家を呼び、町民団体の代表の人たちの意見を聞いたと思うが、どのような意見だったのか。

A 専門家のもとでワークショップを行い、参加者からは現状維持という意見と削減という意見があった。

Q 現在でも町民の声が届きにくいという話を聞いているが、さらに届きにくくなるのではないか。

A そのような意見もあったが、各議員がいかに住民の声を聞いて反映するかだ。14人の現在も議会運営に支障はなく、数の問題ではなく、よりの質の高い議会を目指す。



議員一人一人にかかる責任は重くなり 皆様の投票も一層大切になります

反対討論

議会改革プロジェクトの結果を反映していない

プロジェクト委員会では定数は現状維持との声が大半であった。全議員での協議がないままに簡単に決めていいのか。定数を削減すれば未来の候補者を排除する可能性がある。（下町議員）

議員定数が減ると新人が議会に挑戦するハードルも高くなる。新たな人材が入りにくくなれば議会の新陳代謝が悪くなり、活力や多様性を失うことにもつながり兼ねない。（堀議員）

議員定数については町民が現状維持を希望し、ますます町民の声が届きにくくなる定数削減を望んでいない。町民の声を聞かず、数の力で決めようとするやり方には断固反対する。（岡田議員）

議会改革プロジェクト委員会が導き出した結果を支持する。議員定数削減により議会の機能が低下することを懸念する。現在の2人減の14人で少なからず影響があると感じている。（松林議員）

多様な住民の声にこたえるためにも多様性があることが議会には必須だ。議会改革は議員定数の削減よりも議員の顔の見える化を図るべきである。（安部議員）

賛成討論

数よりも各議員が責任をもつことが重要

落選の可能性が高まろうと、将来的な財政予想からも、年に一人約450万円は必要な議員を十分に置く余裕はない。各議員が責任感と危機感を持ち活動することにつながる。（八木議員）

定数削減自体が議会改革ではない。問われるのは14人で何を成すかである。各議員が責任を負い、町民の声を聴き、監視・討議・政策提言の力を高める覚悟を持つことが重要だ。（金子議員）

現状、委員会での審査に発言が少ないが、各議員は十分に精査している証しで、14人でも審査は十分できている。発議は各議員の意向をアンケートなどから確認した上のことだ。（竹中議員）

持続可能な地域公共交通の実現へ

委員長 金子 恵

総務厚生常任委員会では、人口減少や高齢化が進む中、町民の暮らしを支える地域公共交通の在り方について、所管事務調査を重ねてきました。令和8年1月には兵庫県加西市・たつの市、5月には滋賀県草津市・福井県敦賀市・大阪府摂津市を視察し、コミュニティバスやデマンド交通、乗合タクシーなど、地域の実情に応じた取り組みを調査しました。また、町の担当課との意見交換を行い、これまでの乗合タクシー試験運行の経緯や、既存の交通網、現在抱える課題についても確認しました。

これらの調査を踏まえ、委員会で協議を重ね、「地域公共交通の再構築と持続可能な移動手段の確保に向けて」と題する政策提言書をまとめ、9月17日、議会として町長に提出しました。

地域公共交通は、通院や買物、通学など、日常生活を支える大切な基盤です。議会としても、提言が今後の施策にどのように反映されるかを注視し、誰もが安心して移動できる持続可能な仕組みづくりに向け、引き続き調査していきます。

提言内容（要旨抜粋）

- 既存計画の検証と実態調査を次期計画の政策判断につなげる
- 長与町型ネットワークを構築し、二次元コード等による移動支援を実証する
- 庁内推進体制を検討し、共創・評価を進める

全会一致
可決

長引く物価高騰を受けて児童生徒の保護者やボランティアを支援

令和8年度一般会計補正予算（第4号）

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億815万8千円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ170億6745万3千円とするものです。国の交付金や県の補助金を財源とする教育活動への補助や高齢者福祉事業予算などです。

ボランティアを支援

Q 食事提供ボランティア物価高騰対策支援補助金の補助対象団体の数はいくつか。また、どの程度補えるのか。

A 町が把握しているのは5団体で、物価高騰分を全額補うものではないが、利用者の負担額を増やすことなく活動を継続できることにはつながると考えている。

目指せ！県大会進出！

Q 各種大会参加補助金は、部活動に入っていない児童生徒も対象か。

A 個人でクラブチームなどに入っている場合も県大会以上に勝ち進んだ場合には、オープン大会ではないものについては補助される。

将来の保護者のためにも

Q 県の補助金はスポーツ文化活動支援となっているが、吹奏楽部を使用する理由は何か。

A 8年度限りの補助金なので、学校備品が活用できる運動部活動よりも保護者の金銭的負担が大きく、かつ耐用年数が長い楽器を購入することが将来の部員の保護者の負担軽減にもなると考えた。



長与中・第二中・高田学園の吹奏楽部へ
各140万円の楽器購入補助

令和8年第2回臨時会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第62号	令和8年度長与町一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）

令和8年第3回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第63号	長与町印鑑条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第64号	長与町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第65号	長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第66号	長与町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第67号	長与町国民健康保険条例及び長与町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第68号	長与町駐車場条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第69号	財産の取得について	可決（全会一致）
第70号	財産の処分について	可決（全会一致）
第71号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第72号	令和8年度長与町一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第73号	令和8年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第74号	令和8年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第75号	令和8年度長与町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第76号	令和8年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第77号	令和8年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第78号	令和7年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第79号	令和7年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第80号	令和7年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第81号	令和7年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第82号	令和7年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第83号	令和7年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定（全会一致）
第84号	令和7年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定（全会一致）
第85号	長与町教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第86号	人権擁護委員の推薦について	適任（全会一致）
第87号	財産の取得について	可決（全会一致）
発議1号	長与町議会議員定数条例の一部を改正する条例	可決
発委1号	長与町議会基本条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席）議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	下町 純子	堀 真	岡田 義晴	八木 亮三	松林 敏	西田 健	浦川 圭一	安部 都	金子 恵	山口憲一郎	堤 理志	竹中 悟	西岡 克之	安藤 克彦	審議結果
第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	▼	○	○	※	認定
第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	▼	○	○	※	認定
第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	▼	○	○	※	認定
発議1号	▼	▼	▼	○	▼	○	○	▼	○	一	▼	○	○	○	可決

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

人事案件

教育委員会委員

教育委員会委員任命の議案が提出され、全会一致で同意しました。

小川 豪志氏（嬉里郷）

人権擁護委員

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行なうための議案が提出され、全会一致で適任としました。

金村真智子氏（吉無田郷）

お詫びと訂正

長与町議会会誌よりNo.198（令和8年7月発行）の記事訂正について「長与町議会会誌より」No.198のP4「LED照明買い替え支援」の記事に、次のとおり誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

【正】予算可決後、令和8年8月中旬から申請受付開始を予定している。

【誤】予算可決後、登録対象店舗への説明を行った上で、令和8年7月1日から申請受付開始を予定している。

一般質問

各議員が町民の代表として想いを伝え、町を前に進めるための60分1本勝負。
今回は9人が登壇しました。

P12		八木 亮三 議員	① 今後の情報開示・情報公開の在り方について ② 当事者の立場に立った福祉施策を
P13		金子 恵 議員	① 大規模災害に備えた避難所機能の強化について ② 加齢性難聴の早期発見と社会参加を支える「聞こえの健康支援」について
P14		岡田 義晴 議員	① 本町における郷名の表示のあり方について ② 本町の放課後児童クラブの今後のあり方について ③ 町内の墓地の実態把握と今後のあり方について
P15		下町 純子 議員	① 学校の熱中症対策について ② 小中学校のトイレの洋式化について ③ 小中学校の女子トイレへの生理用品配置について
P16		安部 都 議員	① パートナーシップ宣誓制度導入について ② 町職員の「週休3日制」の導入について
P17		西岡 克之 議員	① R Sウイルス予防接種について ② 自動車文庫「ほほえみ号」の事業継続について
P18		堀 真 議員	① 学校におけるスクールドッグの活用について ② 高田南土地区画整理事業を見据えた交通渋滞対策について ③ 本町におけるタブレットを活用した学習について
P19		松林 敏 議員	① 中学卒業後を見据えたICT教育について ② 災害に対する備えと災害時支援協定の実効性について
P20		堤 理志 議員	① 中長期の財政運営について ② 丸田荘（入浴施設）と公共施設管理計画について

一般質問とは、町の行財政全般に対して、議員が質問を通して問題点の指摘や政策の提案を行うもので、持ち時間は一人60分です。

議会だよりの一般質問の記事は質問した議員が本人の責任において自身で執筆したもので、原則として原文を尊重して掲載しています。正式な会議録全文は長与町議会ホームページなどで閲覧いただけますが、会議録の作成・公開には時間を要しますので、一般質問の様子は各議員の記事に掲載している二次元コードから動画でぜひご覧ください。



やぎ りょうすけ 議員
八木 亮三

交通費 健康づくり助成の拡充を



動画は
こちらから

回答 ガソリン代や理美容代を検討中

■議員 高齢者福祉施策について聞く。高齢者交通費・健康づくり助成は、対象者の約15%が利用していない。メニューを増やすなど未利用者を減らす努力をすべきではないか。

■町長 議員の提案であるガソリン代や理美容代も外出機会の創出に資すると考え、前向きに検討しているところだ。

■議員 丸田荘浴場を廃止することで、他の高齢者福祉事業が何か拡充・改善されるのか。

■町長 廃止すると年間約1600万円の支出が削減されるが、具体的な事業は検討中だ。

■議員 存続を願う人々には心苦しいが、丸田荘の実利用者数は本町の高齢者の1%ほどで、更なる高齢化や財政を踏まえば、老人福祉総務費7千万円の約22%にもあたる1600万円は高齢者全体のために使うべきだ。それだけあれば高齢者・障害者

専用の無料の町内循環マイクロバスを運行できると思うが、一案として検討できないか。

■住民福祉部理事 バスは検討していないが、何に重点を置いて高齢者福祉予算を使うか、改めて考えていきたい。

■議員 本町の在宅中重度介護者介護見舞金制度は、時津町の同制度と比較すると受給要件が厳しく、金額も少ない。再考すべきではないか。

■町長 他自治体の状況を調査・研究し、制度全体の在り方を検討していきたい。

■議員 片目失明者に対して義眼の購入補助ができないか。

■町長 対象者数の把握や補助を行っている他自治体の事例を参考に判断する。

問 情報開示の判断を改善するか

答 各種会議録の積極的公表を行う

■議員 令和8年3月の一般質問でも不当性を訴えた、

【委員】

【事務局】

【委員】

町民としては、議員の方が、他にお仕事を持っているということは、選挙の時には表明してほしいですね。されているとは思いますが、私としても、あまりそういった印象がなくて、**さんが**のようなものをやられたり、**さんが**をやられていた、というのは分かりますが、それ以外で、企業にお勧めされているということなんかは、知っておきたいというような気持ちもありますよね。

【事務局】

選挙時の立候補の際には、職業を記載する欄がありまして、ホームページで公表していたかな・・・選挙公報には、記載される方とされない方がいます。兼業されている方は7名程度であると思います。

上が当初の非開示 下が開示勧告後
最初から下の状態で開示すべきです

町特別職報酬等審議会の会議録が黒塗りだった問題だが、その後不服審査会が町の判断は誤りであるとし、黒塗りを撤した118力所のうち110力所が開示となった。審査会の答申には「非開示情報該当性についての町の判断には強く改善が求められる」とまであったが、今回の件を契機に改善を行うか。

■町長 審査会の指摘を踏まえ、町の各種審議会の会議録を公表するなど、積極的な情報提供を図っていく。

■議員 町は当初、議論が

形骸化する・委員の発言が萎縮するなどの「おそれ」があると判断して会議録を黒塗りにして開示したが、審査会は大部分においてそのような「おそれ」は認められないとした。判断が間違っていたという自覚や反省はあるか。

■総務課長 慎重に判断したつもりだが、審査会の意見は重く受け止めている。今後の審議会等は公表が前提という共通認識の上で開催し、会議録を公表することで、疑念は払拭されたいと考える。



かねこ 恵 議員

体育館空調を計画的に整備せよ



動画は
こちらから

回答 3年後をめどに着手予定



猛暑時の災害に備え、体育館の空調整備を（イラストは生成 AI により作成）

■議員 本町でも最大震度6弱の揺れが想定され、大規模災害はいつ発生するか分からない。特に真夏の避難所の暑さは命や健康に関わるため、平時から機能強化を進める必要がある。学校体育館など空調設備を含め、避難所機能を計画的に強化する考えはないか。

■町長 学校体育館の空調設備整備は必要であると認識している。現時点での計画では、3年後をめどに空調整備について着手を予定している。

■議員 避難が長期になった場合、空調や照明、通信などに電源が必要となる。学校体育館などに空調を整備する場合、停電時の電源確保まで一体的に計画する考えはないのか。

■教育総務課長 空調を設置しても、停電時に使えないのであれば設置した意味がない。非常用発電機も、一体的なパッケージとして計画していきたいと考えている。

モデル的整備を

■議員 8つの小中学校に一気に整備するのは厳しい。モデル的に空調設備の設置を早期に行うことで、いろいろな課題が見えてくると思うかどうか。

■課長 段階的に設備を整備することは、確実に避難所対策を前進させるための重要な示唆であると受け止めている。重要な視点として、検討材料の中を含めたいと思う。

問 聞こえの変化
早期に気づく取組を

答 節目健診の問診
項目に追加したい

■議員 加齢性難聴は本人も周囲も気づきにくく、社会的孤立や認知機能低下との関連も指摘されている。住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるため、早期の気づきから支援する必要がある。日常生活、家族との意思疎通、外出や地域活動への参加などに及ぼす影響をどのように認識しているか。

■町長 社会的な孤立感を招き、メンタルヘルスの低下や抑うつ状態に陥るリスクが高まると考えている。認知症の発症リスクを高める要因の一つとなることも指摘されている。

聞こえの健康支援

■議員 早い段階から聞こえに関心を持ち、その変化に気づくことが大事である。聞こえに関する正しい知識の周

知や簡単な聞こえの確認などを、高齢者と接する場に取り入れていく考えはないのか。

■介護保険課長 75歳から5年ごとの節目健診のときに、聞き取りによる問診項目に新しく加えてやっていきたい。サロンでも、介護予防、認知症予防の一つとして、聞こえの重要性を積極的に発信していきたいと考えている。

■議員 補聴器購入費の一部を助成する自治体が増えている。この制度を導入する考えはないか。

■町長 可能な補助金などを活用できないか協議を進め、予算措置の可能性を研究していきたいと思っている。



聞こえを支え、会話と社会参加につなげる（イラストは生成 AI により作成）



郷名表示板設置の考えはあるか



動画は
こちらから

回答 設置の必要性を研究していきたい



郷名表示板も設置を！

- 議員 郷名標識を整備してこなかった理由は何か。
- 町長 本町は住居表示未実施区域であり、法に基づく街区表示板の設置義務がないからだ。
- 議員 郷名標識の設置の課題は何か。
- 町長 設置箇所の把握や設計、製作、設置工事など相当な事業規模になることや経年劣化に伴う修繕などが継続的に発生すること、設置場所の調整に長期間を要することが想定される。
- 議員 今後、整備を検討する考えはあるか。
- 町長 現状では難しいが、転入者が多い新興団地について

ては、開発者との協議の中で、郷名標識の設置について相談したいと考えている。今後も住民ニーズの把握に努め、標識設置の必要性について研究していきたい。

問 児童クラブの今後の在り方は

答 ニーズに応え体制づくりに取り組む

■ 議員 現在の放課後児童クラブの数、定員、利用児童数は何人か。

■ こども政策課長 放課後児童クラブ数は12、定員は604人、利用児童数は714人だ。

■ 議員 待機児童や利用を希望しても利用できなかった児童はいるか。

■ 課長 現在のところいいものと考えている。

■ 議員 放課後児童クラブの今後の在り方はどうか。

■ 町長 目の前のニーズと将来の変化の双方に的確に対応できる、柔軟で持続可能な放課後児童クラブの体制づく

りに取り組んでいく。

問 墓地の在り方に関する町の考えは

答 時代に応じた在り方を研究したい

■ 議員 町内に公営、民営、共同墓地、寺院管理の墓地は幾つあるか。

■ 町長 地元に古くからある地縁墓地が83カ所、管理組合が管理する墓地が8カ所、寺院など宗教法人等が管理する墓地が8カ所、個人墓地が75カ所、合わせて174カ所ある。公営墓地はない。

■ 議員 墓地開発許可の最新年度データはどこで確認できるか。

■ 町長 墓地経営許可事務

は、県から市町村に権限移譲されており、許可申請時の関連書類は町で保管している。具体的な内容は、住民環境課で確認できる。

■ 議員 今後の墓地の在り方に対する町の考えはどうか。

■ 町長 墓に対する意識が多様化する中、墓を維持できなくなった人などが、寺院などの納骨堂や合祀墓など、遺骨を別の場所へ移しやすいう改葬の手続きや相談窓口について、ホームページなどを活用し、分かりやすく発信する。今後も本町の墓地の現状を踏まえ民間の動向を注視しながら、時代に対応した墓地の在り方について研究していきたい。



変わりゆくお墓のかたち



学校の熱中症対策は



動画は
こちらから

回答 必要に応じた対策を講じている

■議員 暑さ指数の測定をどのように行っているのか。
■教育長 1時間ごとに運動場の暑さ指数を測定し、職員室の掲示板上に結果を掲示し、授業を行う教員も授業後に測定する。体育館にも暑さ指数計を準備している。
■議員 どのような熱中症対策をしているのか。
■教育長 日傘の使用や帽子の着用、適切な水分補給、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとする基本的な生活習慣の定着を家庭に促している。運動会や校外学習などの際には、スポーツドリンクの持参



夏の熱中症対策しっかりと

など必要に応じた対策を講じている。
■議員 特別教室のエアコン設置状況はどうか。
■教育長 現在、音楽室と相談室に設置している。理科室等優先度の高い教室への設置につき2年後をめどに着手予定だ。
■議員 プールではどのような対策をしているのか。
■教育委員会理事 既存の日よけのほか遮光ネットで日陰を確保し、紫外線防止用のラッシュガードの着用もよいとしている。

問 学校のトイレの洋式化は

答 順次改修の予定だ

■議員 トイレの洋式化は全体でどのくらいになるのか。
■教育総務課長 平均で70・8%だが7割に達していない学校も複数ある。順次改修の予定で、令和12年度には国の数値目標である95%に到達する予定だ。

■議員 児童生徒が一日の大半を過ごす学校に和式トイレが残っていることをどう認識しているのか。
■課長 少数ではあるが衛生的な面から和式トイレを希望する児童生徒が一定数いる。

■議員 女子トイレへの生理用品配置は
■議員 女子トイレの個室に生理用品を配置にすることについての考えを尋ねる。
■理事 子どもたちが保健室に取りに行くのをためらうことがないよう、4年生から生理についての指導をしている。保健室での丁寧な対応を継続し、子どもたちが困った時には全職員で対応できる体制をとっている。

問 女子トイレへの生理用品配置は
■議員 女子トイレへの生理用品配置について現状はどのよう

■議員 女子トイレへの生理用品配置について現状はどのよう

うか。

■教育長 現在、児童生徒が使う女子トイレに生理用品を配置している学校はない。

■議員 女子トイレの個室に生理用品を配置にすることについての考えを尋ねる。
■理事 子どもたちが保健室に取りに行くのをためらうことがないよう、4年生から生理についての指導をしている。保健室での丁寧な対応を継続し、子どもたちが困った時には全職員で対応できる体制をとっている。

■議員 女子トイレの個室に生理用品を常備する仕組みを小中学校で統一的に導入することはできないか。
■理事 子どもたちの意見も大事にしたいが、反面いたずらや衛生面の維持管理という課題を考えながら研究したい。

■議員 モデル校として高田学園で実施してはどうか。
■理事 女性の思いを酌みつつ養護教諭と研究を深め、実施可能かどうか研究を進めたい。

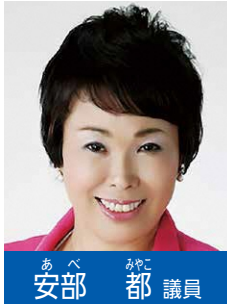
■議員 女子トイレの個室に生理用品を常備する仕組みを小中学校で統一的に導入することはできないか。
■理事 子どもたちの意見も大事にしたいが、反面いたずらや衛生面の維持管理という課題を考えながら研究したい。

■議員 モデル校として高田学園で実施してはどうか。
■理事 女性の思いを酌みつつ養護教諭と研究を深め、実施可能かどうか研究を進めたい。

■議員 女子トイレの個室に生理用品を常備する仕組みを小中学校で統一的に導入することはできないか。
■理事 子どもたちの意見も大事にしたいが、反面いたずらや衛生面の維持管理という課題を考えながら研究したい。

■議員 モデル校として高田学園で実施してはどうか。
■理事 女性の思いを酌みつつ養護教諭と研究を深め、実施可能かどうか研究を進めたい。

■議員 女子トイレの個室に生理用品を常備する仕組みを小中学校で統一的に導入することはできないか。
■理事 子どもたちの意見も大事にしたいが、反面いたずらや衛生面の維持管理という課題を考えながら研究したい。



パートナーシップ宣誓制度導入は



動画は
こちらから

回答 県と連携について協議している

■議員 パートナーシップ宣誓制度と相互利用連携制度への見解はどうか。

■町長 多様性を認め合う社会づくりは、これまで偏見や差別がなく、誰もがありのままに自分らしく暮らせる町を目指し、関係機関や当事者団体と連携した取り組みをはじめ、人権擁護委員と連携した啓発活動などさまざまな視点から取り組んできた。県は令和6年度に人権施策の在り方に関する検討委員会を立ち上げ、意見を取りまとめた。9年度から制度導入を目指し、県内各自治体との連携に



性的マイノリティの人も自分らしく生きられる社会へ
(画像は生成 AI により作成)

についても協議を重ねている。県が宣誓書受領証を交付し、各自治体と協定を結ぶことで、当事者がどの自治体に居住しても、各自治体が利用可能と認める行政サービスの幅が広がることとなる。県主導の制度設計は、当事者にとって利便性が高く、効率的かつ実効的なアプローチであり、相互利用連携に向けて準備が進んでいると考える。

■議員 本町の性的少数者の人数はどのくらいか。また、全国で制度導入している自治体はどうか。

■町長 データは持っていないが、一定数いると考える。また、NPO法人の調査によると、7年5月31日時点で532自治体となっている。

行政サービス拡大

■議員 宣誓制度の条例を制定し、行政サービスの拡大を図る考えはないのか。

■町長 県と県内各自治体が協定を結ぶことで、当事者がどの自治体に居住しても、各自治体が利用可能と認める行政サービスの幅が広がることとなる。個別に要綱を制定する必要はなく、県と県内各自治体との連携についても昨年より協議を重ねている。本町でもさまざまな機関、施設で啓蒙活動を行ってきた。今後も県との連携も図り、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて取り組んでいく。

問 町職員の「週休3日制」導入は

■答 県と町では状況が異なり難しい

■議員 職員の勤務時間、休日体制や管理運営をどのようになっているのか。また、現在の体制で職員にとって理想的な職場体制となっているのか。

■町長 勤務時間は、8時45分から17時30分となっており、うち1時間の昼休みが入るため、実働1日7時間45分の勤務である。休日は、週休2日制となっていて、勤務の出退勤および休暇などの申請状況は、システムを使って管理している。限られた職員数で、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

試験的導入を

■議員 制度を試験的に導入し、職員の意見を聞き、本格的に導入に向け検討してはどうか。

■町長 柔軟な働き方の選択肢として魅力的だが、職員数や住民対応の頻度など県と町では状況が異なり、現段階では着手することは難しいと考える。



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

RSウイルスワクチン接種助成を



動画は
こちらから

回答 罹患予防と任意接種を周知する

■議員 RSウイルスは2歳までにほぼ100%の幼児が感染する病気で、呼吸器のウイルスによる病気である。通常は7日から12日ほどで治るが、生後間もない赤ちゃんや、基礎疾患がある子どもが感染すると肺炎や気管支炎を起こし重症化することがある。また、RSウイルスは子どもの病気と思われがちだが、65歳以上の高齢者、特に75歳以上の高齢者は用心が必要だ。心臓病や糖尿病などにより免疫力が低下した高齢者が罹患するとインフルエンザ並みの重症化や、入院リスク



RSウイルスワクチン接種で症状軽く

も高くなる。しかしワクチンを接種すると、重症化しなくなるなどの研究結果や症例がある。そこで、高齢者のRSウイルスワクチン接種の公費助成を提案したいと思うが、町の考えを尋ねる。

■町長 高齢者のRSウイルス感染症については、健康被害を防ぐ観点から予防接種の必要性は十分に認識している。しかし、本ワクチンは、定期接種ではなく全額自己負担の任意接種となっているため、今後、他自治体や国の検討状況を見ながら研究する。

■議員 自動車文庫ほほえみ号は、いわば文化のお届け事業だが、廃止を耳にした。事業継続できないか。

■教育長 近年、利用者数の低迷やドライバーの確保が

問 ほほえみ号の事業継続できないか

答 今後は公民館で本の予約と受取を

■議員 高齢者がRSウイルスで入院すると、退院まで約80数万円かかる。ワクチン単価が約2万円から3万円であるので、40本相当のワクチン代が一人の入院費で賄える。費用対効果を考えることを提案するがどうか。

■健康保険課長 国の動向や近隣の自治体の状況を見ながら、その時の財政状況も勘案しながら研究していきたい。

■健康保険部長 まずは罹患をしないことが大事だと思うので、予防の重要性、それと任意接種の周知をしていきたい。



「ほほえみ号」ご苦労様でした

難しくなっていることに加え、車両の老朽化に伴う修理費や燃料費などの経費が高騰している状況にある。新図書館の開館を契機に検討した結果、廃止することになっている。代わりに公民館などで検索予約し、受け取る新たな図書館サービスを開始することとしている。

■議員 どのような方法でお届けサービスをするのか。

■生涯学習課長 今後、町立の公民館をハブとして、図書館資料の検索・予約、そして受け取りのサービスができるように計画をしている。



学校にスクールドッグを



動画は
こちらから

回答 課題が多く検討する考えはない



心に寄り添う「スクールドッグ」
という選択肢
(イラストは生成 AI により作成)

■議員 近年、学校に犬を取り入れ、子どもとの触れ合いや授業などを通して、コミュニケーションや命の教育などにつなげるスクールドッグの取り組みが各地で行われている。本町においても、不登校や登校渋りなどへの支援の選択肢の一つとして、こうした動物との触れ合いを教育に生かす取り組みを検討する考えはないか。

■教育長 心のケアや登校

のきつかけづくりなどへの具体的な効果について、教育現場での知見や研究が十分に蓄積されていない。アレルギーや動物への恐怖心、安全・衛生管理、専門人材の確保や費用など課題も多く、現時点で導入は検討していない。

問 国・県への要望の内容は何か

答 西彼杵道路等の早期完成だ

■議員 高田越の渋滞対策について、国や県へ要望を出したとのことだが、具体的な要望内容は何か。

■土木管理課長 西彼杵道路と長崎南北幹線道路の早期完成を要望した。

■議員 町として渋滞の大きな要因をどこにあると認識しているのか。

■町長 高田越交差点周辺の渋滞の大きな要因は、国道206号の慢性的な渋滞と認識している。県からは、現状について説明を受け、今後、強力に推進していくとの回答を得ている。

問 タブレット導入後の視力の傾向は

答 視力の低下の傾向はない

■議員 タブレット導入から5年が経過したが、小学校1年生から6年生までの、GIGAスクール構想が始まる前よりも視力の低下の傾向はないか。

■教育委員会理事 導入時

から視力低下の可能性も想定し、家庭と協力しながら、学習目的以外には使わない、時間を守って使うなどの指導を続けている。現在、大きな視力の低下の傾向はない。

■議員 家庭では、子どもがゲームを長時間していたら「もうやめなさい」と声をかける。一方、教育の現場では、タブレットを子どもたちに配布し、使用を進めている。目的や使い方は異なるものの、画面を見ているという状況は同じである。タブレットの活用により、将来的に子どもたちの視力低下が問題となる可能性が考えられるが、導入から5年経過した今、タブレットが与える視力への影響についても、検証を進める必要があると考えるが、どうか。

■教育長 学校に通っている間は視力検査などで確認できるが、卒業後の追跡調査は難しい。今後、タブレットを使う機会はさらに増えていくため、心配されることが起きないよう注意していく。



災害時支援協定を分かりやすく



動画は
こちらから

回答 ホームページの内容の充実を図る

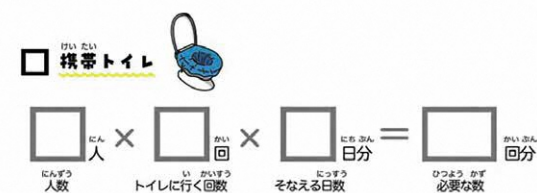
■議員 災害時支援協定は住民の安心安全につながると思うが、支援内容が分かりづらくもったいないと感じる。災害時に具体的に何が提供され、何を準備すればよいのか十分に分からない。どの避難所に、何が、いつ供給されるのか整理されているか。また、ホームページに掲載することが住民の安心につながると考えるがどうか。

■町長 災害時には災害対策本部で被害状況などから優先順位を判断し、協定締結先に要請する。供給内容などについて平時から示すことは困難であるが、協定締結先との連絡体制や要請手順を点検し、協定の実効性向上に努める。また、現在ホームページに掲載している支援内容について充実を図る。

■議員 災害時のトイレの確保は重要である。断水になれば水洗トイレは使用できない。仮設トイレなどの整備までの3日程度は携帯トイレ・簡易トイレの使用が想定され

携帯トイレをそなえよう！

携帯トイレをそなえる数は、人数、トイレに行く回数、日数によって変わります。そなえる日数は少なくとも3日分、できれば7日分がおすすめです。



手指消毒剤

断水したときも手を衛生的に保つためにアルコールやウェットティッシュなどをそなえよう。

照明

照明は、両手が自由になりくわんぜんたいで空間全体を照らすことができるものをそなえよう。

トイレトーパー

経済産業省では、1か月分（1人4ロール）のそなえをすすめています。実際に、どのくらい必要か計ってみてください。

ポリ袋

携帯トイレをぬらさないようにするためにポリ袋（目安：45ℓ）を1つにそなえよう。

水と共に携帯トイレの備蓄を 出典：トイレの教科書（特定非営利活動法人日本トイレ研究所）

が、本町の備蓄は避難者数に対して十分あるか。

■町長 携帯トイレと繰り返し使用可能な非常用トイレ6台を合わせ、3055回分ある。今後、想定避難者数などを踏まえ、必要量を改めて検証し、計画的な備蓄の拡充を図る。

■議員 地震発生直後では、自主防災組織や各家庭で携帯

トイレを備蓄することが有効であると考えられる。断水すると水洗トイレは使用できないことから、自宅で携帯トイレが必要となることが十分に考えられる。各世帯に携帯トイレの備えの必要性の周知をしていくべきと考えられる。具体的な目標を示し、啓発する考えはないか。

■町長 国のガイドラインに1人1日当たり5回、まずは3日分を備蓄する考えが示

されている。広報誌や防災訓練などさまざまな機会を通じて、携帯トイレの備蓄の重要性について啓発を図る。

問 ウィンドウズについての学びは

答 情報の技術の学習に指導がある

■議員 ウィンドウズパソコンは難しくなっている。OSやソフトのアカウント、ネットワークやクラウドの設定、セキュリティまでセットアップする必要がある。高1ギャップの軽減のために、中学生のうちにウィンドウズパソコンについて学ぶことは有効である。中学校までの授業でアカウントの管理やセキュリティの設定などについての学びはあるか。

■教育委員会理事 中学校の技術家庭科の情報の技術の学習で、IDやパスワードなどのアカウントの管理や、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みなどの指導がある。



中長期の財政見通しは



動画は
こちらから

回答 地方債残高は減少していく見込み

- 議員 中長期の財政見通しについて尋ねる。町のローン残高は、令和8年度132億円をピークに、17年度では約21億円減少する見込みで間違いないか。
- 町長 地方債残高は8年度約128億円で緩やかに減少していく見込みであり、議員の考えとおおむね相違ない。
- 議員 本町の実質公債費比率(※)は8%や7・8%をピークに、近い将来6%台へ低下・安定する見通しであるが一般財源にどのような効果が見込まれるか。
- 町長 自由度のあるお金に余裕が生まれ、投資的経費その他行政サービスに財源を回せる効果がある。
- 問 丸田荘への対応は
- 答 署名を重く受け止め丁寧に対応
- 議員 町は丸田荘の維持管理費が老人福祉総務費に占める割合が33・5%と説明し

- てきた。町民が利用する公共施設の維持管理費総額に占める割合は何%か。
- 町長 6・13%である。
- 議員 町はアンケートを基に丸田荘実利用者は151人としている。151人であれば、利用者の全員がほぼ2日に1回通い続けていることになるが、アンケートでは、常連利用者は全体の半分以下だ。回答していない多くの人が利用していると考えるのが自然ではないか。
- 町長 大きく乖離しているとは考えにくく、151人は妥当な数字である。
- 議員 入浴施設の利用者数を抽出する条件を調べた。入浴には季節性など、強い周期性があり無視してはならない。残暑厳しい9月、ようやく長袖を着る10月に取ったアンケートで年間実利用者を151人と断言してよいのか、再度見解を示してほしい。
- 福祉課長 夏は1日60人程度、冬は90人程度来る。冬の方が週に何回も通う人が多いとの意見も聞いている。実人数151人は実際の数字と変わらないと思う。



一緒に考えよう丸田荘を生かす道
(イラストは生成 AI により作成)

- 「慎重な検討を求める」趣旨の住民署名が議長へ、また同趣旨の要望書が町長宛てに提出された。まちづくりは、住民参加と丁寧な対話が重要と認識しているが、町長は、丁寧な対応を行う意思があるか。
- 町長 1030筆の署名と要望書が提出されたこと
- 議員 丸田荘浴場に関し

は、丸田荘の廃止を望まない強い思いを示すものと認識している。将来にわたって持続可能な地域資源として生かす方法をともに考え、協力しながら模索していきたいという趣旨が示されている。町としても重く受け止め、引き続き丁寧に対応していきたい。

※実質公債費比率
地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの

SNS／動画配信により、親しみやすい議会広報作成を

委員長 安部 都

○調査期日

令和8年7月27日～28日

○調査場所

福岡県志免町
福岡県春日市

○調査目的

議会活動に係る広報および広聴活動について

志免町

インスタグラム・フェイスブック・YouTubeとSNSを駆使し親子で議会や高校生との意見交換の取り組みなど政治や議会・議員に関心を持ってもらうため、議員が自ら率先し行動していました。

春日市

議会活動の取材として、自ら街頭インタビューや小中学校を訪問し議会活動を行なっていました。スピード感のある、分かりやすい・親しみある議会を目指し活動していました。

○調査を終えて

特集ページを設け年間でテーマを決定し、市民の目を引く工夫をされていました。特に動画制作・

編集には、両議会共、力を入れたのは本町も見習いたいところです。春日市では、動画編集ソフトやAIを使用し、議会紹介動画では、議員の人物が分かるよう工夫されていたのは本町でもすぐに活用できるのではないだろうか。



視察報告書はこちら

春日市は議員が積極的に街頭インタビューを実施！

住民の声をくみ取る政策提言の大切さ

委員長 竹中 悟

○調査期日

令和8年7月8日～10日

○調査場所

京都府南丹市
兵庫県西脇市
京都府精華町

○調査目的

議会改革、政策提言の推進、議員定数の在り方

南丹市

政策提言の手続きのルール化を学びました。

西脇市

条例の毎年検証や定数削減に伴う広報活動を行なっていました。

精華町

予算・決算と連動した継続的な検証サイクルは大変参考になりました。

○調査を終えて

議会改革、基本条例の検証、議会としての政策提言、議員定数の在り方など、先進3市町の取り組みを調査しました。

住民の声をくみ取り、政策を提言する大切さを再認識しました。

議員間討議で、議会の活性化を図り、不断の議会改革と議員定数の議論の在り方などは、今後の委員会での議論に役立つ有意義な視察となりました。



視察報告書はこちら

先進地視察の様子（兵庫県西脇市）

次の定例会は **12月1日(火)** 開会の予定です。

長与町議会 (定数16)

9月定例会の傍聴者は延べ39人でした。感想の一部をご紹介します。

傍聴者の声!



川口 佑子さん

議員さんの質問もよく考えており、行政の方の答えも誠意を持って回答していたので良かった。

初めての議会傍聴でしたが、皆さま真剣に討論されていることに感動しました。

住民の思いを代弁してくれていることが伝わってきたが、調査活動を一步進めていただきたいと感じました。(60代・女性)



松尾 洋二さん(長崎市)

質問する議員や答弁者のやり取りが回りくどいと感じました。(80代・男性)

議長交際費

(令和8年7月1日～9月30日)

弔慰	98,000円(6件)
慶祝	28,000円(3件)
その他(視察研修土産など)	33,372円(4件)
支出合計	159,372円(13件)



タイトル:中尾城公園に大型遊具が完成!

中尾城公園の遊具更新工事が終了し、令和8年10月26日(月)の式典後から利用できる予定です。

本町にとって初めてとなる大型遊具。昨年9月号で掲載したイメージ図(左図)が、いよいよ現実のものとなりました。

子どもたちの笑顔がいっぱいの、みんなに愛される公園になってほしいですね。

表紙の写眞

編集後記

次の選挙から定数が2削減となります。採決が可否同数となったように町民の皆様も意見が分かれることと思いますが、一つ言えるのは、皆様が「自分が投票しなくてもあの人は当選するだろう」と考えることなく、どの議員・候補者がこれまで何をしたのか(または、していないか)をよく見て、選挙に必ず行くことが一層重要になるといえます。議会は住民の鏡。公費視察を「旅行」と言ってしまうような議員が長与町議会に現れないように、その目を常に光らせていてください。

(八木 亮三)

議会広報広聴
常任委員会

委員長	安部 都
副委員長	岡田 義晴
委員	堀 真
	八木 亮三
	松林 敏
	西田 健
	浦川 圭一



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し揮発性有機化合物を一切含まない NON-VOC ペジタブルインキで印刷されています。